

ご挨拶

子どもたちの立派な音を 聴いてください。

スズキ・メソッドとして世界に知られる才能教育運動の拠点・才能教育研究会の最大のイベントであるグランドコンサートにご来会くださり、厚く御礼申し上げます。

今回の第52回グランドコンサートは、才能教育の偉大な創始者であった鈴木鎮一先生の生誕110年・没後10年を記念するメモリアルイヤーのフィナーレですので、出場する子どもたちや保護者の方々はもとより、指導者の先生方も大会役員の方々も、コンサートの成功を期して精一杯の情熱を注いでまいりました。

わが国の各界からも、また全世界のスズキ・メソッド関係者からも、3,000人以上の子どもが一堂に介して演奏するグランドコンサートに大きな注目と期待が寄せられている理由の一つは、鈴木鎮一先生が早くも戦前から提唱され、そして戦後においては長野県松本市に創られた松本音楽院を母体にして始まった才能教育の実践を通じて訴えてこられた幼児教育の重要性が、今ようやく広く認識され始めたことにあると、いってよいでしょう。

戦後日本の懸案であった教育基本法は去る2006年12月に約60年ぶりに改正されましたが、その第11条には「幼児期の教育は、生涯にわたる人生形成の基礎を培う重要なものである」と明記されました。さらに内閣教育再生会議は、

Listen to the Beautiful Tone of Children

Thank you very much for coming to this Grand Concert, the Talent Education Research Institute's largest event, and a culmination of the world-renowned Suzuki Method for Talent Education.

This, the 52nd grand concert, comes at the end of a memorial year, which saw the 110th anniversary of Talent Education's magnificent founder, Shinichi Suzuki's birth, and the 10th anniversary of his death. The children here today, their parents and guardians, their instructors, and we, the organizers of this concert, have put much passion into the success of this Grand Concert from the bottom of our hearts.

This grand concert, where today more than 3000 children were taught under the Suzuki Method from around Japan and around the world play as one, will have a great deal of attention and expectations due to the fact that Suzuki Shinichi's educational movement has been playing an important role to spread awareness of the significance of early education through his method, which was proposed before World War II, and just after the war the Matsumoto Music School which he started in Matsumoto City, Nagano Prefecture.

Revision of the Japan's Basic Law of Education, a pending problem after the war, was recently updated in 2006, 60 years after its creation. Article 11 of the Law now states "Early childhood education is important as a means of laying the groundwork for character building for one's entire life." Additionally, the Cabinet Education Rebuilding Council emphasized

才能教育研究会
会長

中嶋 嶺雄
(国際社会学者)



その最終報告(2008年1月)でも「幼児教育の重視」を強く訴えています。

鈴木鎮一先生は若き日に「エルマントーン」として知られたミッシャ・エルマンの「アヴェ・マリア」のレコードを聴いてその美しい音に感動し、ヴァイオリンの道に進まれたのですが、才能教育研究会芸術監督の豊田耕児先生も、子どもたちの音の質を高めることに努めてこられました。

どうかご来会の皆様には、子どもたちの立派な音を聴いていただき、クラシック音楽という偉大な芸術に幼児期から接し、みずから弾くことのもつ意味をご理解くださいますよう、お願い申し上げます。

国際社会学者、国際教養大学理事長・学長。1936年松本市生まれ。松本音楽院(鈴木鎮一教室)第一期生。東京大学大学院修士・社会学博士。専門は国際関係論・中国アジア研究。東京外国語大学長、国立大学協会副会長、アジア太平洋大学交流機構(UMAP)国際事務総長、財団法人大学セミナーハウス理事長、文部科学省中央教育審議会委員(大学院部会長・外国語専門部会主査)、内閣教育再生会議有識者委員などを歴任。平成15年度「正論大賞」受賞。著書多数。最近作は「音楽は生きる力」(西村書店)。

*Mineo Nakajima Ph.D. (International Sociology)
President, Talent Education Research Institute, Corp.*

the significance of early childhood education in its Final Report (January, 2008).

In his youth, Shinichi Suzuki was moved listening to a recording of Ave Maria, by Misha Elman, known as "Elman Tone," and chose to study the violin. Prof. Koji Toyoda, as Artistic Director of the Talent Education Research Institute, also worked hard to contribute to raise the quality of our children's music.

I hope that everyone joining us today will listen to the beautiful tone of children as they start out on their own paths to music. May the wonders of the great art of classical music be instilled in children from a young age.

Dr. Mineo Nakajima, President of Akita International University
Born in Matsumoto City (Nagano Prefecture, Japan) in 1936. Entered the Matsumoto Music School (Suzuki Shinichi's class) ; B.A. in China Studies, Tokyo University of Foreign Studies, 1960; M.A. in International Relations, The University of Tokyo, 1965; Ph.D. in Sociology, The University of Tokyo, 1980. Served as President of Tokyo University of Foreign Studies, Vice-President of the Japan Association of National Universities, Secretary-General of the University Mobility in Asia and the Pacific (UMAP) , President of the University Seminar House, Inc., Committee member of the Central Education Council and the Cabinet Education Rebuilding Council and others. Awarded the Suntory Academic Prize, 1981, the Seiron Big Prize, 2003. Published many books. Most recent book is "Music is a Power of Life."

第52回 グランドコンサート挨拶文

子どもたちの立派な音を聴いてください

才能教育研究会会長 中嶋 嶺雄 (国際社会学者)

スズキ・メソッドとして世界に知られる才能教育運動の拠点・才能教育研究会の最大のイベントであるグランドコンサートにご来会ください、厚く御礼申し上げます。

今回の第52回グランドコンサートは、才能教育の偉大な創始者であった鈴木鎮一先生の生誕一〇〇周年・没後一〇年を記念するメモリアルイヤーのフィナーレですので、出場する子どもたちや保護者の方々はもとより、指導者の先生方も大会役員の方々も、コンサートの成功を期して精一杯の情熱を注いでまいりました。

わが国の各界からも、また全世界のスズキ・メソッド関係者からも、3000人以上の子どもが一同に会して演奏するグランドコンサートに大きな注目と期待が寄せられている理由の一つは、鈴木鎮一先生が早くも戦前から提唱され、そして戦後においては長野県松本市に創られた松本音楽院を母体にして始まった才能教育の実践を通じて訴えてこられた幼児教育の重要性が、今ようやく広く認識され始めたことにあるといつてよいでしょう。

戦後日本の懸案であった教育基本法は去る二〇〇六年一二月に約六〇年ぶりに改正されましたが、その第11条には「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである」と明記されました。さらに内閣教育再生会議は、その最終報告(二〇〇八年一月)でも「幼児教育の重視」を強く訴えています。

鈴木鎮一先生は若き日に「エルマントーン」として知られたミッシャ・エルマンのアヴェ・マリアのレコードを聴いてその美しい音に感動し、ヴァイオリンの道に進まれたのですが、才能教育研究会芸術監督の豊田耕児先生も、子どもたちの音の質を高めることに努めてこられました。

どうかご来会の皆様には、子どもたちの立派な音を聴いていただき、クラシック音楽という偉大な芸術に幼児期から接し、みずから弾くことのもつ意味をご理解くださいますよう、お願い申し上げます。